



今年は、JA女性部園芸グループには、春先に花の苗を植えて頂き、今までにない見事な景色が出来上がり、来所者の方々や職員にも癒しを届けて頂きありがとうございました。

また、上記の写真は、10月7日に来年観賞用の「チューリップ」の球根の植え付け作業をしている所です。来年5月頃の3列のチューリップの開花を今から楽しみにしております。園芸グループの皆さん忙しい中大変ありがとうございました。

- JA宗谷南役員視察研修
- JA宗谷南女性部視察研修
- 労働力確保に向けた説明会
- ホクレンRTK自動操舵
システム実演会
- 2024北海道ホルスタイン
ナショナルショウ
- 第6回・第7回理事会議案等
- 『東野ひでき君』を励ます会
- JAグループ北海道農政活動
強化に向けて(第5回)

- JAの存在意義を考えるシリーズ
- 枝幸町公共育成牧場2番草の収穫
- 枝幸町公共育成牧場一斉退牧
- よくほりフェスタ2024
- 健康まつり～乳製品プレゼント
- 秋の廃プラ回収等
- 農水省職員のファームステイ
- 給油所だより
- 枝幸町公共育成牧場上空

J A宗谷南役員視察研修

挨拶を行う向井地組合長



牛乳乳製品課須永課長からの説明



要望を提案した下山理事



今年のJA宗谷南の役員研修は、10月8日～10日、役職員12名で東京での研修と視察、栃木での視察に行っていました。

初日8日は、農林水産省との意見交換の場を中央会東京本部よりセットして頂き、衆議院会館会議室にて行いました。

農林水産省からは、5名の方が出席頂き、牛乳乳製品課の須永課長より乳製品の需要の動向、酪農・生乳に関する制度関係説明を受けました。また飲用牛乳消費量の推移では製造品目別にみると成分無調整牛乳は酪肉近の将来増に近いペースで推移してきたものの、コロナ禍の巣ごもり需要をピークに減少傾向となり、成分調整牛乳等も他の飲料との競合による減少傾向にあるという事や安定対策事業については、事業機能の拡充を検討しているなどの説明を受けました。

一方企画課の廣岡課長からは、エコ畜事業、施設関係の現況などの説明を受けました。

農林水産省からの説明後、質問、要望等を含めての意見交換となり生乳関係では「需給緩和による系統出荷者とアウトサイダーの出荷者との需給調整対策の取組はどうか？」エコ畜関係からは「枝幸町での取組み内容が限定されているので取組み内容の緩和を検討してほしい」また「堆肥を有機肥料として認めてほしい」などの要望や、施設関係では「個人的にも使えるような仕組みの検討をしてほしい」など意見、要望を提案した。

最後に須永課長からは、「経営体によって内容が違いますがそれぞれ注意や関心を向けていかなければならず、安定した経営をするための飼養管理が必要である」とし、意見交換を終了致しました。

二日目の9日は、日光市歴史民俗資料館にある「二宮尊徳記念館」を視察し、二宮金次郎（尊徳）は、日光市域の荒れ果てた村々の復興に尽力した方で、この地で生涯を終えたようです。この二宮尊徳は、日本の協同組合運動の先駆けとして報徳思想を唱え農村復興政策を指導した農政家であり、JAカレッジへの生徒にも講義されており、農協組織としても関係深い人物だとあらためて感心しました。

視察最終日の三日目10日は、大田市場を視察しました。東京都には11の市場がひしめき合っており、この市場は平成元年に誕生した日本最大の市場であり唯一青果、水産、花卉を取り扱っている市場となり、肉については食肉市場が別にあり相互に補完しながら流通ネットワークを形成しているとの事です。担当者より市場取引の流れを聞き、場内の見学ルートにより回り、市場の大きさに感動しながら大田市場を後にしました。

この研修において、農林水産省に現場からの要望や意見を伝えた事で少しでも組合員のためとなるように願い2泊3日の視察研修を終え帰路に着きました。



JA宗谷南女性部視察研修

JA宗谷南女性部では、9月25日～26日、8名が参加し、札幌市にある「百合が原公園」と当別町にある「ロイズ工場」にて視察研修を2年ぶりに実施しました。



25日に枝幸町を出発し、天気も良く一日目の視察地百合が原公園に到着しました。百合が原公園では、公園のシンボリック存在の世界のユリ広場で100種類以上のユリを堪能することが出来、その他にもバラやあじさいなど普段目にするのではない様々な花を楽しむことが出来ました。

500円で園内の全ての施設を利用することが出来、隈なく園内を散策し、この時期は「ダリア」が見ごろとなっており、園内をゆっくりと散策しながら大輪のダリアを楽しみました。

また、「リリートレイン」という電車に乗り、園内を12分かけゆっくりと車窓からの咲き誇る花を楽しんだり、「世界の庭園」では日本庭園をはじめ、中国庭園やミューンヘン庭園など世界の庭園をモチーフとした庭園で異国情緒あふれる風景に日々の忙しさを忘れ百合が原公園を満喫し、その日の視察は終了しました。

この日の夕食は、宿泊先のホテルのディナーバイキングを楽しみ、皆明日に備えて就寝となりました。



翌26日は、チョココレートで広く知られているロイズ工場に併設された「ロイズカカオ&チョココレートタウン」でカカオの栽培からチョココレートが出来までの過程を楽しみながら学びました。

施設内の、カカオファームゾーンでは、ロイズの自社農園「ロイズカカオファームインコロンビア」を再現したゾーンでカカオ豆の栽培や収穫について学ぶことができ、コロンビアの農園の一日をパネルで照会したり、カカオにまつわるクイズコーナーなどで楽しみました。

工場体験ゾーンでは、カカオ豆がチョココレートになるまでの過程を見学できるエリアで実際の製造ラインも見学できます。

ロイズコレクションストリートでは、チョココレートにまつわるコレクションやアート、ロイズの歴史を展示しており、その中でもアンティークな品々に懐かしさを感じていました。

チョココレートワークショップでは、アーモンドナッツやドライフルーツなどをトッピングした自分だけのオリジナルチョココレートを作る体験をしました。

ロイズ工場見学終了後は、ロイズ工場の近くにある「北欧の風道の駅とうべつ」で昼食をとり一泊二日でしたが有意義な視察研修に部員たちは満足表情で帰路につきました。

労働力確保に向けた説明会

JA宗谷南では、10月7日に『労働力確保に向けた説明会』を本所事務所会議室で開催しました。当日は、法人代表を含む組合員が8名、アグリサポートから2名、ヘルパー組合1名と職員と合わせて18名が聴講しました。

説明会での説明は、札幌エージェント(株)より行われました。

今、人材不足、労働力不足が切実な状況であることを踏まえて、どのような手段で雇用者を確保出来るのかと言う事のノウハウや人材派遣の仕組みなどの説明を受けました。とにかく生産基盤を維持しなければ死活問題であり、この先労働力の確保は、必須なものとなって来ています。

説明会の資料については先般のクミカン封筒に同封してありますので是非参考にご覧頂き、営農担当者とも相談されご検討ください。



人材確保の必要性を強く願っての開催の挨拶を行う：向井地組合長



プロジェクターを使って配布の資料の説明をする
《札幌エージェント(株)土居社長》



ホクレンRTK自動操舵システム実演会

JA宗谷南では、10月22日に『ホクレンRTK自動操舵システム実演会』を乙忠部のアグリサポート枝幸作業場にて開催しました。

当日は、組合員の他、役場農林課の職員、ホクレン、(株)北海道クボタ、またGNSSガイドシステムを扱っている(株)ニコン・トリンプルの方やJA職員ら20名ほどが参集しました。

始めにRTKシステムの導入経過や酪農地域での活用方法の紹介を行い、実際にRTKシステムを導入したアグリサポートのトラクターでのモアコン・テッター作業の様子を動画で視聴しました。

作業を行ったオペレーターの所感としては、自動操舵を活用することで作業機の操作に集中出来たり、疲労感が手動操作時に比べると少ないと感じられ、特に薄暮時には色や凸凹が見づらくなったり、テッター作業には牧草との境目が分かりづらくなるなどそのような場合には、利用価値が高まることが報告された。

その後場所を圃場に移動し、システムを導入しているトラクターに乗車し実際に運転も体験し、最後は導入費用や実用などの質疑応答を行い実演会を終了しました。



2024 北海道ホルスタイン ナショナルショウ in安平町

北海道ホルスタイン農協主催の「2024北海道ホルスタインナショナルショウ」が9月28日、29日の両日、安平町にある共進会場で行われました。全道各地から美人コンテスト予選を勝ち上がってきた、ホルスタイン種とジャージー種合計400頭の乳牛が出品され、日頃の改良成果を競い合った。岩見沢市の酪農家、「瀬能 剛」氏がオフシャルジャッジを務め、最高位のグランドチャンピオンには、木村吉里さん（遠軽町）出品の「サニーウエイ アストロ マツカチエン」号が輝いた。当組合からは、道北ホルスタイン共進会の予選を経て4件9頭が出品されました。出品されました組合員の皆様大変お疲れ様でした。

なお、来年の10月北海道にて「第16回全日本ホルスタイン共進会」が開催される予定となっておりますので、一層の改良成果が発揮されることをご期待致します。



グランドチャンピオン
「マツカチエン」号

部	名号	等	席	出品者
3	ポールスター ダイバイン ドック	3	9	高 橋 慶 大
3	ウチ プレース ジャコピー	3	10	内 田 喜久男
4	オムラ ハマー ボビー	2	11	小 椋 義 則
4	ハッピーライン サイドキック ベイリーズ	3	8	内 田 喜久男
9	オムラ チーフ エレガンス	2	7	小 椋 義 則
10	マタドーア ジャガー オーシャンスカイ	3	11	小 椋 義 則
13	M.F. トラミルダ ブラデルタ ミリー ET	2	10	関 口 真 也
13	エツセンス サイドキック モーグル アボロ	3	13	小 椋 義 則



オフシャルジャッジ
「瀬能 剛」氏



ポールスター ダイバイン ドック



オムラ ハマー ボビー



ハッピーライン サイドキック ベイリーズ



オムラ チーフ エレガンス



M.F.トラミルダ ブラデルタ ミリー ET

第6回理事会 開催月日令和6年8月26日

【決議事項】

1. 固定資産（土地）の取得について
2. 規程類管理規程の改正について
3. 信用事業方法書（為替取引）の改正について
4. 不良債権処理方針について

【協議事項】

1. 7月末クミカン計画実績対比について

【監査関連報告事項】

1. 内部監査報告について

【報告事項】

1. 7月末クミカン実績対比について
2. 組合員の異動状況について
3. 7月末各部署取扱高及び実績報告について
4. 貸付金実行報告について



第7回理事会 開催月日令和6年9月30日

【決議事項】

1. 文書管理規程の改正について
2. 災害対策計画（BCP等）の改正について
3. 反社会的勢力等への対応に関する規程の改正について

4. マネー・ローナダリング等への対応に関する規程の改正について

5. 当組合における取引のリスク評価書の改正について

【協議事項】

1. 8月末クミカン計画実績対比について

【監査関連報告事項】

1. 第2四半期監事監査報告について
2. 内部監査報告について

【報告事項】

1. 仮決算損益計算書の報告について
2. クミカン保証人の変更について
3. 8月末クミカン実績対比について
4. JA共済コンプライアンス点検結果
および改善方針の概要について
5. (株)アグリサポート枝幸第2四半期実績報告について
6. 組合員の異動状況について
7. 8月末各部署取扱高及び実績報告書について
8. 貸付金実行報告について



東野ひでき君を励ます会



JA宗谷南では、9月24日酪農振興センターにおいて『東野ひでき君を励ます会』を催しました。

すでに組合員の皆様には、この広報誌などを通じて来夏の参議院通常選挙の候補者として「東野ひでき」氏を推していることはご理解頂いている事と存じます。

この度全国各地を回っている中でありますが、本人から未来を拓くため目指すものを語って頂くために来町されました。

当日は、役員、青年部、女性部、職員合わせて50人ほどが集まり声援を送りました。

後援会長であります向井地組合長からも、北海道の団結力、位置付けを見せるためにも是非、国政に送ってほしいと力強く述べました。

続いて、連合会を代表して厚生連「西本」会長からも食料安全保障の確立に向け農業者、JAの声を国政にしっかりと届けて頂けるようご声援お願いしたいと述べ全国15万人の目標である「なかまつくり」についてもお願いしたいと述べられた。



続いて、本人からの決意表明が述べられました。最終予備決戦から半年が過ぎました。本州もすでに半分回り、いよいよ後半戦に向けて農業情勢は非常に厳しい中、あらたに気を引き締めて行脚して参りますと、力強く宣言されました。その中で農業を継いでいこうと思う政策、生産者が納得する政治を目指し、未来を拓くべく①持続可能な農業の実現に食料安全保障の確立に全力を尽くします。②適正な価格形成の実現に消費者の行動変容を促します。③生産基盤の維持・確保を図り多様な農業者が誇りをもって営農できる施策を拡充します。と、以上3つの目指すものを掲げ邁進することを述べた。



励ます会最後に青年部「高橋部長」と女性部「山崎部長」の発声により「農業者の声を国政に届けて頂きましょう」とガンバロー三唱を出席者全員で力強くこぶしを挙げました。最後、東野氏と出席者全員と固い握手を交わして決意を新たにしました。



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位をする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要



です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。
次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会

JAの存在意義を考えるシリーズ 第4回「JAにおける 共同販売」

【共同販売の始まりと不振】

1951(昭和26)年、雑穀・澱粉の統制廃止を受け、北販連は無条件委託・平均売り・共同計算を柱とした“農業協同組合事業原則確立要綱”を作成した。しかし農家組合員は統制経済から解放されたばかりで自由販売を渴望していた。また、農協も自由市場への憧れ、組合自体の資金繰りもあり三原則への反響は低調で、同年産の雑穀・澱粉の系統集荷率は北販連で28%にすぎなかった。

【系統農協共同販売の幕開け】

1955(昭和30)年は大豊作であった。特に豆類は供給過剰となり、さらに中国産大豆の輸入もあって、相場は下落し生産費が賄えない状況にあった。こうした事態に対処するため本道の農協系統は、国や道に対し政策陳情等を行う一方、自らは次のような対策を行った。

- ①30年産共計品は、“無条件委託”に変更し、販売はホクレン会長に一任。
- ②50万俵の豆を棚上げし、最悪の場合は古品として翌年に持ち越しても価格の安定を図る。
- ③31年産の作付調整を行う。

こうした取り組みの結果、生産者組織としての系統農協がその団結力を共販に結集して、その危機を乗り切った。

「考えるシリーズは6回連載します」



枝幸町公共育成牧場2番草の収穫



枝幸町公共育成牧場では、9月12日～13日の二日間で2番草収穫作業を行いました。両日とも天候に恵まれ、営農部職員も良質粗飼料確保のためにと応援に駆け付けて収穫作業の手伝いを行いました。
2番草はバンカーサイロを1本詰めロール牧草も収穫し、越冬用の粗飼料は1番草を含め十分確保することが出来ました。



JA宗谷南では、10月24日、枝幸町公共育成牧場で夏期預託牛の退牧が行われた。同牧場に放牧されている枝幸、歌登両地区から預かる育成牛16戸65頭が軽便牛となり約5カ月ぶりに里帰りしました。

当日は、秋晴れではあったものの強風の中で行われ、若手の酪農後継者や酪農家、枝幸町職員と宗谷南職員など約30名が退牧作業に従事しました。

今年も順調に80%～100%ほどに体重が増加し、いつも通りの成長ぶりでした。

一か所に集められた牛たちは、手際よく家畜車に積み入れ次々とマイホームまで送り届けられました。

枝幸町公共育成牧場

大きく成長し

夏期預託牛が里帰り





よくばりフェスタ2024

枝幸町観光協会主催による『よくばりフェスタ2024』は、10月6日に道の駅マリィンアイランド岡島特設会場にて開催されました。

当日は乳製品消費拡大の一環としてJA宗谷南も出店し、青年部・女性部の協力の元、牛乳の無料配布や乳製品セットの格安販売の他、じゃがいも・玉ねぎ・かぼちゃの販売を行いました。

秋晴れの好天に恵まれ多くの来客で賑わいを見せ、牛乳の無料配布や乳製品の販売は長蛇の列を作り、1、2回目共にすぐに終了してしまふ程の大盛況となりました。

イベントの最後は、紅白の餅まきで会場大いに盛り上がり、よくばりフェスタの幕を閉じました。

健康志向の昨今、牛乳・乳製品の消費拡大のPRは今後も継続して行なってまいります。



「健康まつり」～乳製品プレゼント～

枝幸町では、9月1日「健康まつり」と表し、中央コミュニティセンターにて開催。晴天の空のもと、多くの親子連れや町民で賑わった。第1部の記念講演では「がんと生きる私も家族も～早期発見・治療の実際」と題し講師：HTB職員「阿久津友紀」さんが自分の母の乳がん、自分自身も乳がん罹患しがん当事者となったことから早期発見の重要性を切に訴えていました。

当組合では健康志向に目を向けてもらえるよう「ヨーグルト」を来場者に無料配布し、消費拡大の一環と健康増進への一助とさせて頂きました。



秋の「廃プラ」「ラップフィルム芯」等の回収

回収

J A 宗谷南営農部と経済部の合同で10月21日と23日の二日間で「廃プラ・ラップフィルム芯等」の回収を行いました。

今回は、通常の廃プラ回収と資材店舗経由で購入したラップフィルム・ロールネットの芯等の回収も行いました。この芯等の回収は無料で行われましたが初めての事で搬入は少なかつたようです。

廃プラは適切に処理をすればリサイクル可能な資源ですので組合員皆様のご協力をお願いいたします。

※廃プラ搬入時のお願い
搬入時にはフレコンバックから中身が出ないように開口部をしっかりと結び、スプリーなどで氏名の記入をお願いします。



農林水産省職員ファームステイ

J A 宗谷南青年部では農林水産省との交流事業による農作業体験の受入れを10月15日～17日の3日間行いました。

受入れ頂いた牧場は、本幌別「関口牧場」と音標「山崎牧場」に引受けて頂きました。

最初は、慣れない作業に戸惑っていましたが、受入れ先の指導力の高さにすぐに上達していきました。

2日目は、乙忠部の「石田牧場」の放牧酪農と志美宇丹の「(株)J・C牧場」のロボット酪農の異なる搾乳形態を見学させて頂き、違いに驚いていました。

また、青年部と4Hクラブとの合同による交流会を実施することもあり、活発な意見交換を交わす事が出来ました。

最終日の終了後には、「短い期間でしたが折角慣れて覚えてきたところで帰るのは名残惜しいですが、とても楽しい体験でした。」

また、機会があれば是非この枝幸町に來たいです。」と、農作業体験に來られた2人の農林水産省の職員が話してくれました。

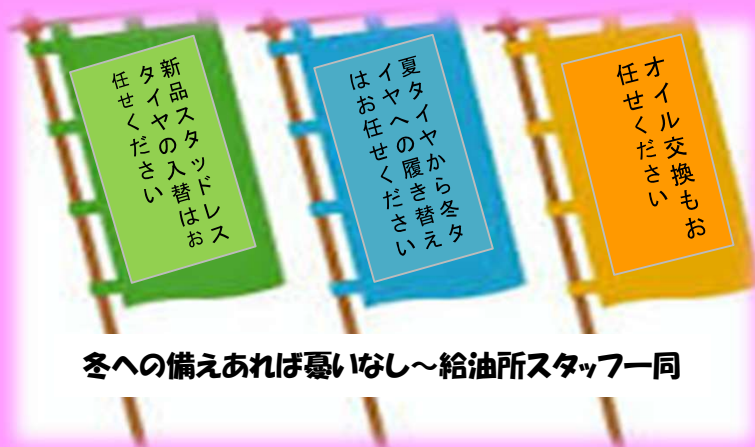


山崎牧場へ
齋藤光那さん
(さいとうみな)



関口牧場へ
後藤朗さん
(ごとうあきら)

～給油所だより～
9月11日より新紙幣対応の給油機となりました。
組合員の皆様は、現金給油があまり無いかと思われ
ますがお知らせ致します。
また、QRコード決済も可能
となっております。



冬への備えあれば憂いなし～給油所スタッフ一同



育成牧場上空

